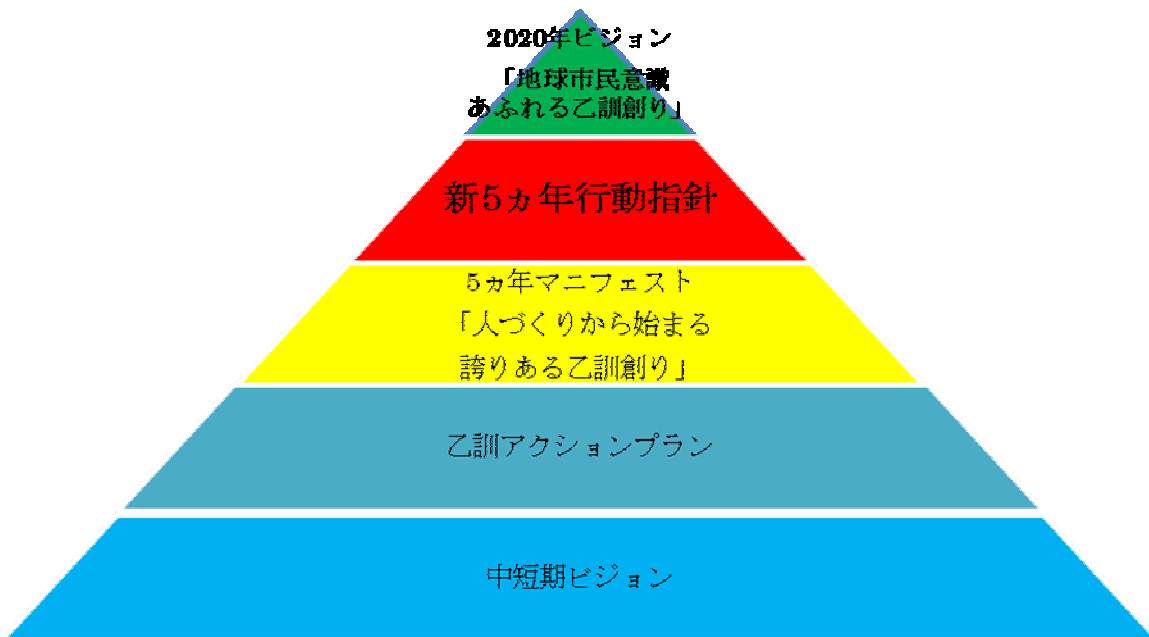


新5カ年行動指針

社団法人乙訓青年会議所では、1998年に2020年ビジョンが策定されました。そのビジョンをもとに活動し、2002年には乙訓アクションプランが、2004年にはそのアクションプランをもとに5カ年マニフェストが策定され活動してきました。そして、2008年度に再度検証し2009年度新たな行動指針を打ち立て2020年ビジョン達成に向け新たな活動を行います。また、刻々と変化する社会情勢に伴い、常に検証を行い「地球市民意識あふれる乙訓^{まち}」を目指し、活動してまいります。

笑顔があふれる「市民が主役」の乙訓創り 新5カ年行動指針



2020年ビジョン作成に至る経緯

2009年度は、日本に青年会議所運動の灯が東京に燈って60年目を迎えます。また、乙訓青年会議所も同様に30周年という節目の年を迎えることとなりました。

今から11年前の21世紀を目前に控えた1998年、我々の先人達は2020年をひとつの到達点として、乙訓青年会議所が歩むべき道筋を考えるために「2020年特別委員会」を設置されました。そして、この乙訓地域の現状の問題点や我々が理想とする社会について繰り返し議論を重ねた結果、どのような時代変遷の中でも普遍的な乙訓青年会議所としてのビジョンを策定する必要があるという結論に達しました。それは、「自分が変われば周りが変わる。周りが変われば地球が変わる」ように、地域に住む一人ひとりの意識改革がこの乙訓^{まち}を変えていくようなものでなければならない。また、その意識改革には、「自立・共生・創造」ということが重要であると考え、2020年ビジョンの理念「地球市民意識あふれる乙訓^{まち}」が完成しました。1999年度から、乙訓青年会議所はこの基本理念を念頭に置きJC運動を展開し、このビジョンをできるだけ多くの人にできるだけ正確にそして確実に伝えるために2000年には中短期ビジョンが策定され、2002年には乙訓アクションプランが策定されました。そして、そのアクションプランをもとに2004年の25周年を機に5カ年マニフェストが策定され、ビジョン達成に向けて中短期の活動計画に沿った青年会議所活動を展開してきました。本年度、新たな中短期活動計画の策定を前に、今一度メンバー全員が原点に立ち返り2020年ビジョンを理解し、活動していく必要があると考えます。

例会の舞台上に掲げられる理事長スローガンは年度毎に一新されますが、乙訓青年会議所の基本理念である2020年ビジョン「地球市民意識あふれる乙訓」の横断幕は変わりなく掲げられています。メンバーはもちろん、行政、関係諸団体、地域の方々、そして乙訓青年会議所を卒業された多くの先輩諸兄の目に我々の進むべき道として映し出されてきたものです。確かに、壮大な目標なのかもしれません。しかし、我々の先人達とメンバーは単年度制の中で「個人の修練・社会への奉仕・世界との友情」という三信条のもと、青年として英知と勇気と情熱をもって、櫂を繋ぎながら2020年ビジョンに向かい地域に根ざした活動を展開してきました。その結果、行政、市民、関係諸団体との絆が生まれ、今日に至っては地域になくてはならない頼れる団体として認めいただき、我々の理念に賛同いただいているからこそ、まちづくりやひとづくり事業が継続して行えているのだと思います。このことは市民意識改革の輪が大きく広がりつつある状況だと考えます。

自立とは、周りに起こる出来事を自らの責任と捉えることのできる心。すべての出来事を自分への恵みと受け止めることのできる心。常に能動者であること。

共生とは、全てのことに「自分ひとりではできうものではない、周りの人の力を借りてはじめてなせることだ」と気づく心。感謝の気持ち。

創造とは、全てのことに一番罪なのは無関心であるということに気づく心。チャレンジ精神。

この地域に住む方々が、自分のことと同じように他人のことを考えられ、自分のことと同じようにまちのことを考えられ、自分のことと同じように隣まちのことが考えられる。そのように関心をもっていただく方を増やすことが「地球市民意識あふれる乙訓」に近づくと考えます。この乙訓地域に住む一人ひとりの意識を変えていくにはまず、我々乙訓青年会議所メンバーが変革の能動者となって「自立・共生・創造」の心をもって活動することであり、このビジョンをもって運動を広げる他はありません。新しい5年間のスタートを前に全員で理解し、一丸となって活動していきましょう。

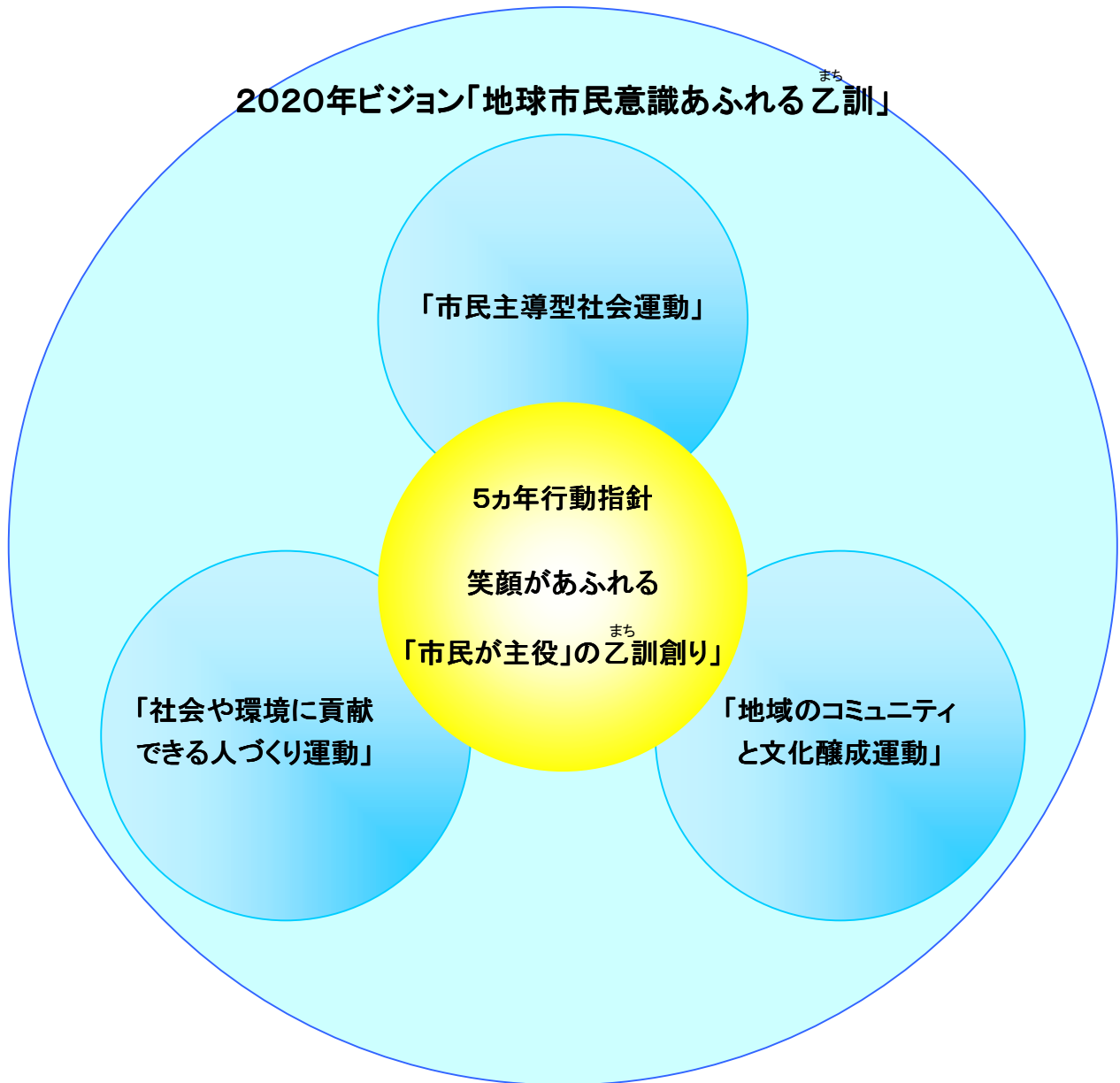
新5カ年行動指針

『笑顔があふれる「市民が主役」の乙訓創り』

- ・日本人のこころと道徳心を持った地域に貢献出来る会員の育成
- ・市民主導型社会を目指し地域のコミュニティや新たな文化醸成

「市民主導型社会運動」
「社会や環境に貢献できる人づくり運動」
「地域のコミュニティと文化醸成運動」

2020年ビジョン「地球市民意識あふれる乙訓^{まち}」



「市民主導型社会運動」

・広域連携を視野に入れたまちづくりの研究

乙訓青年会議所は乙訓地域を活動エリアとしていることを踏まえ、各種行政や団体と広域な視野に立った活動を行わなければなりません。将来的な視点に立ち次代を担う子どもたちのために魅力あふれる地域になるための研究を行います。

・自然豊かな乙訓地域の環境を考えた我々にできること運動

この乙訓地域は豊かな自然環境に恵まれております。そんな乙訓地域を次世代に残していくには、まず我々が乙訓地域の環境について出来ることをしっかりと考え、学び、地域の皆様や行政と連携し行動します。

・市民の意見を反映できる機会の創出

首長選挙等様々な機会に際して、市民主導で行う討論会は市民の意見を反映する上で重要であります。乙訓青年会議所は地域に根ざした公益団体として様々な立場や思想を意見集約できる機会の創出を行うことができる団体として活動していきます。

「社会や環境に貢献できる人づくり運動」

・地域に貢献できる経営者の育成

我々は青年会議所メンバーである前に地域の企業家であり一市民であることを自覚し、率先して地域社会に貢献する必要があります。そのために様々な機会を通じて学び、実践して参ります。

・日本の良き道德心の伝承

次代を担う青年として、何より日本人として利他の精神、義理人情を大切にして、道德心を思い起こし伝承することが、誇りある人づくりを行う団体である青年会議所には必要だと考えます。青年会議所運動の共生の中で秩序や規律を守る意義を理解し、日頃から誠実な態度や模範となる行動をとることが大切であり、常に自己の資質向上に意識を持って行動します。

・同じ志を持った仲間づくり

青年会議所が掲げる理念は明るい豊かな社会の創造であります。そのような社会を作るためには、一人でも多くの同じ志を持った仲間を増やすことが必要です。青年会議所の魅力を多くの方に発信する活動を通して、切磋琢磨することで友情が育まれ自己成長につながる活動を行います。

「地域のコミュニティと文化醸成運動」

・人と人との繋がりを大切にした地域コミュニティの復活

時代の移り変わりとともに、地域コミュニティの希薄化による問題が表面化しています。いつの時代であっても、人とのふれあいや関わりあいは欠かせないものです。地域の人と人との繋がりをより強固にし、地域の発展へとつながる活動を行います。

・この^{まち}乙訓だからできる、この^{まち}乙訓にしかない乙訓ブランドの創出

乙訓地域には、他の地域にない歴史や文化、自然があります。この乙訓の特色を生かし、地域に結びついた乙訓ブランドの創出を目指します。

・行政・諸団体・市民が三位一体となる連携強化

現在の青年会議所は、様々な事業を継続し行政、諸団体、市民の方々などの参加を通して、三位一体の事業活動を行っています。事業の将来性を考え、青年会議所が中心にいるのではなく、三位一体となった事業をサポートする役割に廻り、市民が主役の^{まち}乙訓の創造を目指します。その為にも行政、諸団体、市民の方々がお集まりの場に参加し、青年会議所の思いを伝え、三位一体となる連携強化の促進を行います。